

ワークショップ「パキスタンにおける統合的な洪水リスク管理能力向上」 実施報告



開講式での集合写真

ICHARM では、2012年5月15日から24日まで、パキスタンの中級～高級行政官を対象に、ワークショップ「パキスタンにおける統合的な洪水リスク管理能力向上 (Capacity Development for Integrated Flood Risk Management in Pakistan)」を実施しました。

このワークショップは、2010年にパキスタンで起こった大水害を契機に、日本政府からユネスコへの資金拠出によって開始したプロジェクト「パキスタンにおける洪水予警報及び管理能力の戦略的強化 (Strategic Strengthening of Flood Warning and Management Capacity of Pakistan)」の一環として、実施したものです。

ワークショップには、インダス川水系局議長、パキスタン北部に位置するカイバル・パクトゥンクワ州灌漑・電力局長官、パキスタン宇宙高層大気研究委員会 (SUPARCO) 副局長、パキスタン気象局主席気象研究官、カイバル・パクトゥンクワ州災害管理局救援調整担当部長、および国立災害管理局理事の6名が参加しました。

ワークショップの内容は、講義と現地視察の2本立てで構成されました。我が国の洪水対策に関する講義としては、日本の洪水対策、ダム操作の方法、気象情報や洪水情報の取得・伝達方法、地域防災計画などを行いました。また、最新の研究内容の紹介として、ICHARM で研究開発を行っている IFAS や RRI モデル、JAXA から開発員を招いての GSMaP などの講義を実施しました。

現地視察としては、我が国の総合治水計画の先駆けともいえる鶴見川流域（鶴見川遊水地、霧が丘調整池、恩廻公園調節池）、水質改善や環境面にも配慮した渡良瀬遊水地、効率的な水利用を図るための川治ダム・五十里ダムの連携事業、植林事業を精力的に実施している足尾砂防現場、利根川中流部での上水や灌漑に重要な役割を果たす利根大堰などを訪問しました。また、19日には、埼玉県久喜市内で行われた「第61回利根川水系連合水防演習」の見学も行い、大規模な演習の光景に圧倒されていました。



鶴見川遊水地内の越流堤



足尾砂防堰堤を遠望



五十里ダム・川治ダム接続トンネル



利根大堰を遠望

22日には、英語教育の盛んな羽生市立村君小学校を訪問して、生徒の皆さんの温かい歓迎を受け、給食を一緒に食べるという貴重な経験もしました。羽生市役所に入る際は、職員の皆様の拍手を受け、河田晃明 羽生市長の歓迎のお言葉も頂き、市の防災対策について説明を受けました。



村君小学校での歓迎



羽生市役所での歓迎



河田市長のご挨拶



国土交通省 水資源・国土保全局 表敬

23日には、国土交通省 水資源・国土保全局、外務省 国際協力局、文部科学省 日本ユネスコ国内委員会への表敬も行って、各省庁での局長クラスにご対応いただき、貴重な意見交換の場となりました。

最終日に行った修了式では、竹内センター長から参加者に修了証が手渡され、無事にワークショップは終了しました。



竹内センター長から修了証授与

参加者の多くからは、このワークショップの内容は大変良く考えられており、素晴らしいものだったとの評価を頂きました。帰国後、今回のワークショップから得られた知見をもとに、パキスタンで考えられる将来の方向性や対策をまとめることとなりました。

なお、現地視察の一部は、現在 ICHARM で実施中の修士課程「防災政策プログラム 水災害リスクマネジメントコース」と合同で行い、修士課程に在籍する6名のパキスタン学生にとっては、高官と議論できるいい機会になりました。

最後になりましたが、本ワークショップの遂行に当たり、お忙しい所ご協力いただいた外部講師の皆様および、羽生市役所、国土交通省京浜河川事務所、利根川上流河川事務所、鬼怒川ダム統合管理事務所、五十里ダム管理支所、川治ダム管理支所、渡良瀬河川事務所、(独)水資源機構 利根導水総合事務所、気象庁の皆様には、この場をお借りして厚くお礼申し上げます。